

フィールド日誌

コース：男体山 二荒山～山頂～志津～志津林道～三本松

調査日時： 2012年 5月 7日 時間： 9:24～16:35

天候： 晴れ→曇り 山頂で霰 夕刻から雨 気温：
装備品： 化繊T・薄手長袖・ソフトシェル、ワカン（不使用）

自然情報・概況

表…6合過ぎの樹林下に若干の凍結。8合目手前鳥居付近から積雪・凍結。大きな支障無し。

8合～9合で積雪。トレースはあり。安定している所が多く概ね雪面を歩けるが、登りは蹴り足が流れ、下りはおそらく滑る。軽アイゼンかチェーンバンドがあると楽。

9合より上の赤ザレには雪は無い。

裏…行程の7割が雪。山頂から7合目までは雪道と土道が交互に出る。

7合から2合目上までは基本的にずっと雪。雪の状態は安定し、トレースもある。

基本的には雪面を歩けるが、樹木の付近や岩の近くなどを通ると足が抜ける。

トレース付近には股近くまで踏み抜いた足跡が幾つも残っていた。登山者が歩くまでの開山直後は、アイゼンのみではなくワカンも念の為所持していた方が良さだろう。

また、トレースが無いとルートは見づらい。

前日には湯元周辺で激しい雨が降ったが、ルート上には大きな影響は無かった。

志津小屋は利用可能。異常は無いが、小屋周辺の道は雪解け水が流れ水路と化している。

表の5・7・8合の小屋も健在。8合目以外は扉が無く、雨宿り程度。

山頂の大剣が根元から折れる。3/4から3/11の間に折れたようである。

志津からの登山者2名。スパッツなし。ローカットのトレッキングシューズ？程度。

7合までの土道があるので、土地への影響を鑑みれば推奨したくはないが、安全のためには軽アイゼンの装着を薦めるべきであろう。

裏の四合付近で子供用の靴（スニーカー）片足を拾う。雪面にあった為、開山後の登山者のものであろう。世間一般では春でも、志津方面は雪が深い為十分な注意喚起を要する。

山頂付近ではアマツバメ・イワツバメが群舞し、殊に太郎山神社付近はイワツが多かった。

ルリビタキ・ヒガラ・イワヒバリ目視。ブナの花が2合目付近に落ちていた。

神社境内にてアカヤシオ見頃。1合目でシラネアオイが蕾を付けていた。

山門 9:24～5合 10:26～休憩等計 20分～山頂 12:08＝

＝13:00～5合 14:01～志津 14:40＝15:00～太郎分岐 15:27～三本松分岐 16:23～三本松 16:35